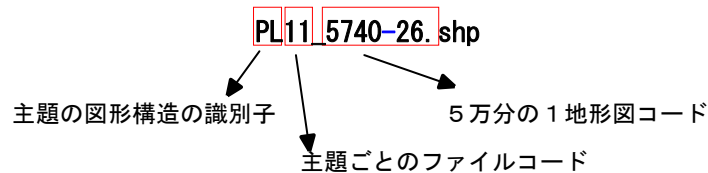


# 土地履歴調査の公開用数値地図データ仕様について

土地履歴調査成果の「GIS データファイル」の仕様を以下に示します。

## ① shape ファイル名の命名方法

shape ファイルには、以下により半角英文字・数字を組み合わせたファイル名を付与しています。



### ・主題の図形構造の識別子

ポリゴン : PL      ライン : LN      ポイント : PT

### ・主題ごとのファイルコード

shape ファイルには、以下のように主題ごとに2桁の連番コードを設定しています。

人工地形及び自然地形分類 : 11~14

土地利用分類 : 21~22

災害履歴 : 31~89

### ・5 万分の 1 地形図コード

AAAA- BB (4 桁、2 桁の数字をハイフンで連結)

AAAA : 一次メッシュコード

BB : 5 万分の 1 地形図の区域のコード

70	71	72	73	74	75	76	77
60	61	62	63	64	65	66	67
50	51	52	53	54	55	56	57
40	41	42	43	44	45	46	47
30	31	32	33	34	35	36	37
20	21	22	23	24	25	26	27
10	11	12	13	14	15	16	17
00	01	02	03	04	05	06	07

00~66(青色): 5 万分の 1 地形図の区域のコード

00~77(灰色): 二次メッシュコードの下2桁

例: 5 万分の1地形図コード(「仙台」図幅)

5740-26

なお、5 万分の 1 地形図の図幅の統合・延伸等により、調査地域が複数の 5 万分の 1 地形図コードにまたがる場合は、上記の正規の 5 万分の 1 地形図コード単位に shape ファイルを分割して作成しています。

## ② 数値地図データの主題別の標準ファイル名、構造及び内容

作成する人工地形及び自然地形分類数値データ、土地利用分類数値地図データ及び災害履歴数値地図データの主題別の標準ファイル名等を以下に示します。

なお、災害履歴数値データにおいては、災害の種類や発生時期ごとに適宜ポリゴン、ライン、ポイントのいずれかの構造を持つデータを作成のうえ、shape ファイルの主題ごとに定める 2 桁のファイルコードと調査図幅の 5 万分の 1 地形図コードを設定しており、詳細は別冊の災害履歴数値地図データ仕様書を参照してください。

### ア. 人工地形及び自然地形分類数値地図データ

	主題名	ファイル名	構造	内容
1	自然地形分類1	PL11_****-**.shp	ポリゴン	自然地形分類(主区分)
2	自然地形分類2	PL12_****-**.shp	ポリゴン	自然地形分類(副区分)
3	人工地形分類1	PL13_****-**.shp	ポリゴン	人工地形分類
4	人工地形分類2	LN14_****-**.shp	ライン	旧谷線

### イ. 土地利用分類数値地図データ（2 時期分）

	主題名	ファイル名	構造	内容
1	土地利用分類1	PL21_****-**.shp	ポリゴン	土地利用分類第Ⅰ期・明治期
2	土地利用分類2	PL22_****-**.shp	ポリゴン	土地利用分類第Ⅱ期・昭和期

### ウ. 災害履歴数値地図データ

	主題名	ファイル名※	構造	内容
1	災害履歴 (水害,土砂災害,地震災害 火山災害,地盤沈下等)	PL(PT,LN)31_ ****-**.shp ～PL(PT,LN)89_ ****-**.shp	ポリゴン	浸水区域、被害区域等
			ライン	被害区間等
			ポイント	破堤箇所、被害箇所等

※ 災害履歴に関する shape ファイルは、図形の重なりが生じないように、災害の種類や発生時期ごとの複数のファイルに分けて作成しています。作成したファイルは、災害の種類及び取り扱う図形の形状に応じて、31～89 のファイルコードを設定しています。

### ③ shape ファイルの標準データベース定義

人工地形及び自然地形分類、土地利用分類及び災害履歴及の各数値地図データの標準的なデータベース定義を以下に示します。

#### ア. 自然地形分類 1（ポリゴン）

◆属性項目定義				
No.	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形 ID
2	code	文字列	2	自然地形分類(主区分)の分類コード
3	name	文字列	40	分類の呼称
◆分類コードの詳細				
code	内容		備考	
11	山地斜面等			
12	火山地斜面等			
13	麓斜面及び崖錐			
14	土石流堆積地			
21	更新世段丘		岩石台地	
22	完新世段丘		岩石台地	
23	更新世段丘		砂礫台地	
24	完新世段丘		砂礫台地	
25	更新世段丘		ローム台地	
26	完新世段丘		ローム台地	
31	扇状地			
32	谷底低地			
33	氾濫原低地			
34	自然堤防			
35	旧河道			
36	湿地			
37	三角州・海岸低地			
38	砂州・砂堆(礫州・礫堆)			
39	砂丘			
40	天井川及び天井川沿いの微高地			
41	河原・河川敷			
42	浜			
51	現水部			
52	旧水部			

イ. 自然地形分類 2（ポリゴン）

◆属性項目定義				
No.	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形 ID
2	code	文字列	2	自然地形分類(副区分)の分類コード
3	name	文字列	40	分類の呼称
◆分類コードの詳細				
code	内容		備考	
61	崖			
62	凹地・浅い谷			

ウ. 人工地形分類 1（ポリゴン）

◆属性項目定義				
No.	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形 ID
2	code	文字列	2	人工地形の分類コード
3	name	文字列	40	分類の呼称
◆分類コードの詳細				
code	内容		備考	
91	人工平坦地(宅地等)			
92	人工平坦地(農地等)			
93	改変工事中の区域			
94	盛土地			
95	埋立地			
96	干拓地			
97	切土地			
98	人工水面			
99	砂利採取跡地		一部の調査地域のみ適用	

エ. 人工地形分類 2（ライン）

◆属性項目定義				
No.	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形 ID
2	code	文字列	2	人工地形の分類コード
3	name	文字列	40	分類の呼称
◆分類コードの詳細				
code	内容		備考	
01	旧谷線		人工平坦化地内で分類	

オ. 土地利用分類（第 1 期、第 2 期共通）（ポリゴン）

◆属性項目定義				
No.	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形 ID
2	code	文字列	2	土地利用の分類コード(第 I 期、II 期共通)
3	name	文字列	40	分類の呼称
◆分類コードの詳細				
code	内容		備考	
01	田			
02	沼田		「02 沼田」は第 I 期(明治・大正期)のみ適用	
03	畑			
04	果樹園			
05	樹木畑			
06	森林			
07	荒地・海浜等			
08	湿地			
09	建物用地			
10	交通施設用地			
11	その他の用地			
12	水部			

## カ. 災害履歴（ポリゴン・ライン・ポイント）

◆属性項目定義				
No.	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形 ID
2	code	文字列	2	災害分類コード
3	name	文字列	40	災害種別等(以下分類コードの「name」欄を適用)
4	date	文字列	8	西暦年月日を、YYYYMMDD 形式で表記
5	source	文字列	200	資料名(発行者)
◆分類コードの詳細				
code	Name(災害種別等)		備考	
11	浸水域		台風、集中豪雨、大雨、融雪等による洪水や内水の浸水範囲	
12	堤防決潰箇所等		台風、集中豪雨、大雨、融雪等による堤防決潰箇所	
13	高潮浸水域		高潮、異常潮位による浸水範囲	
14	高潮破堤箇所等		高潮、異常潮位による堤防決壊箇所等	
21	がけ崩れ		斜面崩壊またはがけ崩れの発生範囲・発生箇所、被害範囲等	
22	地すべり		地すべりの発生範囲、被害範囲等	
23	河道閉塞箇所等		土砂崩壊等による河道堰き止め箇所、堰止め湖の範囲等	
24	土石流		土石流発生溪流、堆積範囲、被害範囲等	
31	建物被害		災害による建築物被害箇所、被害範囲等	
32	土木構造物被害		災害による土木構造物の被害箇所・被害区間、被害範囲等	
33	液状化		地震による液状化の発生範囲・発生箇所等	
34	地震土砂災害		地震による土砂災害の発生箇所・発生範囲、被害範囲等	
35	地震断層		地表地震断層の区間又は確認地点等	
36	延焼域		地震火災による焼失区域又は出火点	
37	津波高		津波の高さ・痕跡高・遡上高の確認地点(明細を「source」に記載)	
38	津波浸水域		津波による浸水範囲	
41	火山災害の発生範囲等		溶岩流・火砕流・火山泥流・山体崩壊等の発生範囲、被害範囲等	
51	水準点・水準基標位置		地盤沈下観測のための水準点位置	
52	地盤変動量分布		地盤沈下による地盤変動量(等沈下量線図)	
91	災害調査等の実施範囲		災害履歴図作成時に引用した災害資料の調査実施範囲	
(注) 災害分類コードが上記の規則により難しい場合は、その都度詳細を定める。				

## 災害履歴図GISデータ定義

	アイテム名	定義	桁数	内容
1	id	数値	6	図形ID
2	code	文字列	2	災害分類コード
3	name	文字列	40	分類の呼称(災害種別等)
4	date	文字列	8	西暦年月日を、YYYYMMDD形式で表記
5	source	文字列	200	資料名(発行者)、その他



成果図	災害名	災害種別	図形種別	ファイル名		
水害	1953(昭和28)年西日本大水害	浸水	ポリゴン	PL31_4931-64		
	1993(平成5)年の台風13号による水害	浸水	アーク	LN32_4931-64		
			ポリゴン	PL33_4931-64		
	1997(平成9)年の台風19号による水害	浸水	ポリゴン	PL34_4931-64	PL34_4931-66	
	2004(平成16)年の台風16号による水害	浸水	ポリゴン	PL35_4931-64		
	2004(平成16)年の台風23号による水害	浸水	ポリゴン	PL36_4931-64		
	2005(平成17)年の台風14号による水害	浸水	ポリゴン	PL37_4931-64		
	2011(平成23)年の台風15号による水害	浸水	ポリゴン	PL38_4931-64	PL38_4931-66	
	2012(平成24)年7月九州北部豪雨による水害	浸水	ポリゴン	PL39_4931-64		
	1993(平成5)年から2012(平成24)年の土砂災害発生地点	がけ崩れ、土石流、地すべり	ポイント	PT40_4931-62	PT40_4931-64	PT40_4931-66
土砂災害						PT40_5031-02

## ○シェープファイル

LN32\_4931-64、PL31\_4931-64、PL33\_4931-64、PL34\_4931-64、PL34\_4931-66、PL35\_4931-64、  
PL36\_4931-64、PL37\_4931-64、PL38\_4931-64、PL38\_4931-66、PL39\_4931-64

code	内容	備考
11	浸水域	台風、集中豪雨、長雨、融雪等による洪水や内水の浸水箇所、浸水範囲

## ○シェープファイル

PT40\_4931-66、PT40\_5031-02

code	内容	備考
21	がけ崩れ	斜面崩壊又はがけ崩れの発生範囲・発生箇所、被害範囲等

## ○シェープファイル

PT40\_4931-64

code	内容	備考
21	がけ崩れ	斜面崩壊又はがけ崩れの発生範囲・発生箇所、被害範囲等
24	土石流	土石流発生溪流、堆積範囲、被害範囲等

## ○シェープファイル

PT40\_4931-62

code	内容	備考
21	がけ崩れ	斜面崩壊又はがけ崩れの発生範囲・発生箇所、被害範囲等
22	地すべり	地すべりの発生範囲、被害範囲等
24	土石流	土石流発生溪流、堆積範囲、被害範囲等